

活動報告

平成18年度 調理師会総会兼研修会報告書

平成18年10月5日午前10:30から

厚生連長岡中央総合病院 2F講堂

参加人数29人

1、会長挨拶

2、本会挨拶

3、調理師会総会

・調理師会規約について

佐渡総合病院、羽茂病院の調理師が入会しました。

今後も職員、定時職員、臨時職員の有資格者の入会を進めていく。

年会費1500円から2000円へ。(外部研修等の費用助成)

・役員選出方法について

来年度役員は、順番表の通り選出する。

・外部研修会への参加について

参加希望者が複数になった時の対応として、調理師会会計より費用助成する。

・その他

調理師会員総数128名 参加数29名

4、日本病院調理師会研修会参加者の報告

ニュートリション・サポート・チーム(NST)について

栄養不良あるいはその可能性のある患者に、アセスメントを行い、栄養管理の必要かを判定し、患者に最もふさわしい方法を指導、提言し、栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療を行なう。

患者への効果—苦痛、精神的、治療日数の短縮、医療費の軽減など。

病院経営の効果—感染症、医療事故、経費の削減、入院期間長期化による経営的不利など。

5、新潟県中越地震発生時の栄養科の対応と課題

発生時の対応 (魚沼病院)

- ・あまりの揺れの大きさに思わず外へ飛び出した。
- ・大丈夫と分かっても現場に入ることすら恐かった。
- ・ライフライン停止、特に電気の停止による影響は、全てのものを停止させた。
- ・懐中電灯をなんとか捜し出し、翌朝の献立を考えた後に、他職種の応援。

翌日の対応

- ・ライフラインの停止、特に停電の影響の大きさを思い知らされた。
- ・貯水タンクの水道は濁り調理には使えない。

- ・調理器具、材料の確認と作業スペースの確保。
- ・自家発電で使えた食器保管庫と電気炊飯器2台と蒸気釜1釜のみ。
- ・次第に救援物資が集まり、出来る限り暖めた物を出すことを考えた。

今後の課題

- ・非常電源（自家発電）は必ず確保しなければならない設備である。

ご飯－電気炊飯器

お粥 }
お湯 } 電熱器
調理 }

保温－食器保管庫

照明器具

- ・マニュアルの作成 — 各病院とも検討中である。
- ・各病院備蓄の確保を行なわれている。

6、中央総合病院調理施設見学

保健所の検査はもとより、現場の職員のアイデア等を生かし、立派な施設が出来たと感心させられました。